事業報告書

活動区分	「認知の向上」

題　名	県庁食堂への”ノウフク野菜”食材提供 ”もっともっとノウフク2026”連動企画
期　間	2026.11.24～27

概　要

県庁食堂で「ノウフク野菜」のだご汁　障がい者が育てた野菜を提供　木村知事も試食

来年の「農福連携全国フォーラム」 熊本開催へ弾み

障がいのある人たちが育てた「ノウフク野菜」を使った熊本名物「だご汁」が、24日から27日まで、熊本県庁の食堂（熊本県職員互助会）で特別メニューとして提供されている。農業と福祉をつなぐ「農福連携」の取り組みを広く知ってもらおうと企画されたもので、昨年の熊本市役所食堂への食材提供に続いて2件目となる。

提供されたのは、だご汁の具材となる白菜、ホウレンソウ、ニンジン、チンゲンサイの4品目。いずれも、NPO法人熊本福祉会を利用する障がいのある人たちが、定植から管理、収穫まで丹精を込めて育てたものだ。

25日には、木村熊本県知事が熊本県農福連携協議会の奥野会長とともに昼食に訪れ、だご汁を味わいながら「ノウフク談義」に花を咲かせた。

食堂の村上料理長は「いただいた野菜は甘みがあり、だご汁のうま味を引き立てている」と話す。

木村知事は「このような機会をいただき、大変ありがたい。食堂を訪れる県民の方々や県職員に、少しでも農福連携の取り組みを知っていただければ。これを機に、こうした取り組みが続くことを願っている」と述べた。そのうえで「来年、熊本で開催される農福全国フォーラムへのステップになれば」と期待を寄せた。

奥野会長は「現在取り組んでいる農福連携について、皆さんに少しでも理解いただき、一歩踏み出していただけることを願う」と呼びかけた。

熊本市役所でも昨年に続き、12月3日に同様の取り組みを予定している。当日は大西熊本市長との会食も予定されている。







事業報告書

活動区分	「認知の向上」
題　名	県庁食堂への”ノウフク野菜”食材提供 ”もっともっとノウフク2026”連動企画
期　間	2026.11.24～27

概　要













事業報告書

活動区分	「認知の向上」

題　名	県庁食堂への”ノウフク野菜”食材提供 ”もっともっとノウフク2026”連動企画
期　間	2026.11.24～27

概　要









